

平成30年第8回大山町議会定例会一般質問

平成30年9月20日・21日

通告順	議席 番号	氏名	質 問 事 項
1	15	西山 富三郎	1. 差別をなくすためのメッセージは活かされているか 2. 自然・歴史・文化をどのように町民啓発をしているか。
2	1	森本 貴之	1. 公共施設の管理と在り方について 2. 雇用の創出と産業活性化について
3	3	門脇 輝明	1. 財産管理について 2. 災害時の対応について 3. 人材の育成と確保について
4	12	吉原 美智恵	1. 開山1300年後の大山町の観光は 2. 誰もが暮らしやすいまちとは
5	2	池田 幸恵	1. ふるさと納税の活用や連携について
6	9	野口 昌作	1. 農業収入保険に助成を 2. 町道の路線変更等の要望に対する考えは
7	11	西尾 寿博	1. 結婚対策 2. 観光局の不始末
8	8	大森 正治	1. 猛暑・熱中症対策を 2. 「子どもの貧困」を可視化して対策を
9	10	近藤 大介	1. サーファーと連携した地域活性化について 2. 職員の定員管理について 3. 大山恵みの里公社、大山観光局について
10	13	岡田 聰	1. 防災・減災の備えを万全に 2. 高齢社会における高齢者の生き甲斐づくりを
11	7	米本 隆記	1. 町営墓地を造らないか 2. 学校の今後の在り方は
12	5	大原 広巳	1. 今夏の異常気象に対する防災について 2. 堆肥センターの稼働状況について 3. 大山口駅舎縮小案について

平成 30 年 8 月 22 日

大山町議会議長 杉 谷 洋 一 様

議席番号 15 番 大山町議会議員 西山 富三郎



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 差別をなくすためのメッセージは生かされているか。</p> <p>大山町では「電話による同和地区の問い合わせ」「訪宅時での差別発言」など、いまだに差別事象が後を絶ちません。さらに平成 25 年 3 月には、県内でも例を見ない「差別はがき投函事件」が発生しました。</p> <p>このような中で、大山町、大山町教育委員会、大山町人権同和教育推進協議会は「差別をなくすためのメッセージ」を作成し、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消をめざします。</p> <p>《差別をなくすためのメッセージ》</p> <p>私たちは、「すべての町民が幸福を求め、平和で豊かに暮らせる人権尊重のまちづくり」を推進します。</p> <p>その実現のために全町民が次のことに取り組みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別はしません、させません、ゆるしません ・一人ひとりが人権尊重のまちづくりの担い手として学びます ・みんなが豊かにつながり、支えあえる、地域づくりを進めます <p>(広報だいせん 平成 26 年 7 月号 人権のつぼ 108 引用)</p> <p>①その後の啓発は。職員研修、町民研修、企業研修など。</p> <p>②差別事象、差別表現などの発生は。</p> <p>③事象が発生した場合、町長・教育長はどう対峙するか。</p>	<p>町 長</p> <p>教育長</p>



(注) 的確な弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>2. 自然・歴史・文化をどのように町民啓発をしているか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自然のしくみ、生き物同士や人とのつながりなど、自然を正しく伝えるための「自然の見かた」・ 日々の暮らしのなかで自然のしくみ、自然保護を意識できる力	教育長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

議席番号 1番 大山町議会議員 森本 貴之

**一 般 質 問 通 告 書**

次のとおり通告します。

(質問予定時間

60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 公共施設の管理と在り方について</p> <p>町内地域の活動や生活を支える公共施設の老朽化は対策を打たなければ止まることはありません。限られた財源で、その対策は大きな課題であると考えます。ときには、施設の統廃合も議論されるなか、その施設が地域にとってどうあるべきかは重要なことです。</p> <p>① 高麗体育館の跡地利用について、現在の進捗状況は。</p> <p>② 全ての公共施設の老朽化対策と統廃合についての考え方は。管理計画の作成状況をお聞かせください。</p> <p>③ 公共施設の管理を新設された財務課が所管することで、期待される効果は何だと考えますか。</p> <p>2. 雇用の創出と産業活性化について</p> <p>雇用の創出と産業活性化は町の発展に大きく関係するものと考えます。雇用や起業の魅力が高まり、働く現役世代が増えれば少子化にも効果が期待されるのではないのでしょうか。また働く環境と同時に若い世代が住みやすい住環境の整備も大切だと考えます。</p> <p>① サテライトオフィスや成長産業の誘致への取り組みの現状は。</p> <p>② 産業の魅力をどのように発信していますか。雇用の創出状況と産業活性化の現状をお聞かせください。</p> <p>③ 民間による賃貸住宅の建設、若者向け住宅の建設など具体的な考えはありますか。住環境の整備についての考えをお聞かせください。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p> <div data-bbox="1225 1736 1460 1960" style="text-align: right;"> </div>

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成30年 9月 5日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

議席番号 3番 大山町議会議員 門脇 輝明 印



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1. 財産管理について</p> <p>① 決算は当該年度における町の財産の増減や年度末の状況を、主権者である町民に示すために、財務規則等の関係法令に基づいて行うものである。 町の財産管理事務は財務規則に従って、適正に処理されているものと思うが、本年7月の機構改革によって財務課などが新設されたことに伴う、所要の財務規則改正は行われたのか。</p> <p>② 町の財産は、広く言えば土地・建物から鉛筆一本、紙一枚にいたるまで全てが含まれている。財務規則に拠れば、公有財産は(1)土地(2)建物(3)立木(4)動産(5)無体財産権(6)有価証券(7)出資による権利の区分により財産台帳を作成し、その実態を明らかにすることとなっているが、台帳は適切に記帳整理されているか。 また、物品については、台帳の作成は規定されていないが、どのように管理しているのか</p> <p>③ 決算書には重要な物品として自動車のみが記載されているが、ほかにも重要な物品があると思う。重要な物品の定義は何か。</p>	町長
<p>2. 災害時の対応について</p> <p>今回の西日本豪雨災害では、気象庁は早くから大雨特別警報を発令していた。しかし、200人を越える犠牲者を出し、平成に入って最悪の被害となった。特に、倉敷市真備町では、地区の3割が浸水し、51人も犠牲者が出た。なぜ、これほどまでに被害が拡大したのか、検証すべき課題は多い。</p> <p>① 課題の一つは避難情報の伝達である。緊急性が高い「避難指示」があっても、その意味が住民に届かず、避難所に避難する人が少ないことにある。 真備町では、死者の9割が65歳以上の高齢者で、その多くは1階でなくなっていた。自分だけは大丈夫という心理「正常性バイアス」が働いたため、逃げ遅れたといわれている。 また、雨の音が大きく、防災無線の声が聞き取れない状況もある。避難行動につながる災害時の情報発信のあり方について検証が必要である。</p> <p>住民に危機の切迫をいち早く知らせる手段として、サイレンの吹鳴後の防災無線による放送が有効と考える。また、町外に勤務する住民を含め、情報を迅速かつ正確に伝えることが可能な緊急メールを併用することにより、適切な避難行動につながることを期待できる。 本町も、サイレンの吹鳴や、米子市などが実施している「あんしんトリピーメール」の利用を検討すべきだ。</p>	町長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質問事項と要旨	質問の相手
<p>② 住民避難のあり方は、災害の種類によって個別に対応する必要があるが、大切なことは、ハザードマップを活用しながら、「避難指示」等を発令する権限を持つ町当局が、「いつ」、「誰が」、「どう動くか」を明確に示すことである。</p> <p>今回、真備町の被害が拡大したのは、小田川の堤防が決壊したことが原因であり、このことは、ハザードマップに洪水エリアとして記載されていた。しかし、現実には住民の避難行動につながっていないことが浮き彫りとなった。</p> <p>また、「避難準備」、「避難勧告」、「避難指示」のそれぞれの違いがわからないという声もある。</p> <p>各自主防災組織において行っているところであるが、町としても「避難指示」等の意味やハザードマップの活用の仕方等について、防災学習を機会を捉えて継続的に実施するとともに、災害の発生に備えて、「避難指示」等の場合に住民に示す内容をマニュアル化し、これに基づく訓練を実施する必要があると考える。</p>	
<p>3. 人材の育成と確保について</p> <p>① 大山町の将来を考えると、人材の確保と育成は常に心して取り生まなければならない課題である。特に優秀な町職員の確保と資質の向上は町の施策を実施して行く上で、その元となるものである。</p> <p>本年度、町は多くの職員を採用したが、保育所の正規職員等なお不足している所もある。</p> <p>人材の確保と育成について、どのような方策を考えておられるのかお伺いしたい。</p> <p>② 本町では幼児の給食費から高等学校通学費の補助まで、手厚い子育て支援を行っている。</p> <p>しかし、そうして育て上げた子供たちの多くが町外に流出しているため、人口減少対策として、多くのIターン、Uターン施策を実施しているにもかかわらず、現状は十分に本町発展の力となっていないと思われる。</p> <p>人材の育成と確保のため、現在実施している施策の、より効果的な運用とともに、新たな施策の検討も必要ではないか。</p> <p>③ 人材の育成と確保のために、ふるさと応援基金を財源とした町独自の奨学金の創設を提案したい。</p> <p>仕組みとしては、たとえば、大学生や専門学校生などに対して月額5万円から10万円を貸与し、これを10年から20年間月額2万円を返還してもらうものとし、卒業後に町内に在住するときは、その期間相当の返還金は免除するものが考えられる。</p> <p>これは、本町へ帰郷し、就職や起業する動機付けの施策として、ふるさと応援基金の精神に合致するとともに、長期的に見れば、町外在住者の償還金と町内在住者の住民税などにより、財政負担はほとんどないものと思う。</p> <p>同種の事業は、日吉津村がUターンの促進を目的としてすでに実施しており、本町でも実施すべきだと考える。</p>	町長、教育長

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成 30 年 9 月 6 日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

議席番号 12 番 大山町議会議員 吉原 美智恵 印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 開山 1300 年後の大山町の観光は</p> <p>大山開山 1300 年祭の行事もほぼ終盤にさしかかかってきたところである。</p> <p>実行委員会事務局は、県西部総合事務所内の大山振興室にあり、大きな行事をこなすことに重点が置かれて来たことは否めない。</p> <p>そのため、大山町民の盛り上がりも今一步のまま、行事も終盤にさしかかかってきている。大山寺自体は客数は伸びており効果はでているようだが、祭りの後が気にかかるこの頃である。</p> <p>観光はすそ野の広い産業であり町の活性化の重要な位置を占めている。</p> <p>今の観光局の実態も踏まえ、どのように来年に向けて戦略を立てていくのか。</p> <p>また、町の貴重な資源としての文化財の活用はどのようにしていくのか。</p>	町長 教育長
<p>2. 誰もが暮らしやすいまちとは</p> <p>「大山町未来づくり 10 年プラン」において「楽しさ自給率の高いまちへ」という基本理念が掲げられていることは周知の如くである。</p> <p>魅力あるまち、いきいきと暮らし続けることのできるまちを誰かではなく、自分自身が「楽しさ」を支えに一步踏み出し行動していくという意味がこめられている。</p> <p>この度、大山町の目指す「楽しさ自給率の向上」の一つの取り組みとして「こどもと楽しいまちプロジェクト」の実施計画が示されたが、「誰もが暮らしやすいまち」とどのようにつながっていくのか。</p> <p>また、子育て支援も充実しているなか、大人をどのようにまきこみ、理解を広げていくのか。</p>	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



大山町議会議長 杉谷 洋一 様

議席番号 2 番 大山町議会議員

池田 幸恵

**一 般 質 問 通 告 書**

次のとおり通告します。

(質問予定時間

40 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. ふるさと納税の活用や連携について</p> <p>「ふるさと納税」とは、応援したいと思う自治体への寄付金相当額が、いま、住んでいる自治体の個人住民税などから控除される制度のことで、「ふるさとを大切にしたい」「ふるさとの発展のために貢献したい」という気持ちをかたちにしようとするものです。大山町は、2008年4月よりふるさと納税事業を開始し、昨年度は大手デパートコラボ企画により納税額は増加がみられました。</p> <p>しかし2016年頃から、地方自治体間での返礼品の競争が激しくなり、寄付金額の半分以上が返礼品の調達に使われてしまうという事態に総務省は2017年4月に寄付額のうち返礼品が占める価格を3割以下に抑え、家電や宝飾品などの換金性の高い品もやめるよう地方自治体に通知し、その中で「返礼品を送る場合には、地場産品とすることが適切」というルールも示唆していました。</p> <p>現在の大山町のふるさと納税の状況について問う。</p> <p>① 地域自主組織寄付状況と現時点での物以外の返礼品は</p> <p>② 他の事業との連携は</p>	町長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成30年9月10日

大山町議会議長 杉谷 洋 一 様

議席番号 9番 大山町議会議員 野口 昌 作 印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分 1

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>(一) 農業収入保険に助成を</p> <p>農家を対象にした収入保険制度がいよいよ31年から始まります、稲作・野菜・果樹茶・ハウス・花その他本町で生産される農産物、ただしマルキン等の対象である肉用牛肉用子牛、肉豚、鶏卵は対象外ですが、特に本町特産のブロッコリー、白ネギには大変に良い制度とかがえています。</p> <p>大山ブロッコリーは昨年、一昨年と秋ブロッコリーが天候不順に襲われ病気になるなどで大減収でした。価格安定対策は出荷してからですが、出荷にならない大打撃でした。ネギも大雪で折れてしまい出荷できないなどありました。</p> <p>自然災害や、経営者が病気に襲われたときなど、収入補てんされる制度で、本町農家の経営安定になくってはならない制度です、是非加入を進めるために保険料の補助制度を考える必要があると考えます。</p> <p>以前にこれにつき質問した時は、保険制度がはっきりしてから考えるとの答弁でしたが11月が加入申請のスケジュールであります</p> <p>農業者の減少と高齢化、不耕作地の増加は確実に進んでいます、しかし農村の維持は農業政策や移住定住、子供政策と併せ必ずやり遂げなければなりません。大山を頂点とする傾斜地で大山黒ぼく土壌の恩恵を受け、大山さんの御かげですと言える適地適作で、収入保険に守られ安定した農業で生活できる町を目指して、是非予算化するべきと考えます。 町長の考えは</p>	町 長
	<p>受附 第 6 号 30.9.10 大山町議会</p>

平成 30年 9月10日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

議席番号 11番 大山町議会議員 西尾 寿博



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 「結婚対策」</p> <p>町長就任から子育て支援についてはテキパキと施策を行っておられます。しかしながら結婚対策になるとうまくいってないようです。</p> <p>赤い糸のせいにはできない問題です。以前、議会では討論会で様々な意見が出ていました。決定打になるようなものはなかったように思いました。</p> <p>予算についても29年度決算で60万円でした。</p> <p>予算も使いこなせなくなっている状態が見てとれる。</p> <p>28年に決定したニッポン1億総活躍プランで、「希望出生率1・8の実現」を掲げている。さすがにこれは無理な数字でしょう。</p> <p>結婚希望年齢と言うものがある(男30・4歳、女28・4歳)、しかし平均の初婚年齢は(男31・1歳、女29・4歳)は希望年齢を上回っています。</p> <p>遅くはなったけれど結婚できた方は良いとして適齢期いっぱいの35歳～39歳の未婚率が男性35%女性23%もある。</p> <p>検討すべき方向性として、若者の雇用安定化・所得の向上を進めていかなければならないし、一方で出会いの場の提供を支援しなければならないとおもう。</p> <p>① 今後しっかりとした対策を考え予算を付けなければ進まないと思うがいかがか。</p> <p>② 地域未来投資促進法とはどのようなものか。</p>	町長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質問事項と要旨	質問の相手
<p>2. 「観光局の不始末」</p> <p>9月5日の新聞報道で平成27年に委託したエコトラック事業1058万円のうち188万円の事業について実施されていないことが判明したため返還を求めるといふ。</p> <p>また、その翌日には観光局に対しペナルティを科すといふ。</p> <p>本年度予算の時にも事業の見直し等を指摘したが取り合えず実施されてきています。</p> <p>1300年祭が控えていた時期でもあったからかもしれません。</p> <p>① どのような経過で不始末につながったのか。</p> <p>② ペナルティはどのようなこと</p> <p>③ 組織、人員の適正配置をされる時期に来ているのではないのかうかがいます。</p>	町長

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成30年9月9日

大山町議会議長 杉谷洋一様

議席番号 8 番 大山町議会議員

大森正治



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 猛暑・熱中症対策を</p> <p>この夏の猛暑は尋常でなく、気象庁は「命に危険を及ぼすレベルで、災害と認識している」と記者会見した。また、猛暑は今年の夏だけの特異な現象ではなく毎年続くだろうと予想されている。</p> <p>猛暑による熱中症で救急搬送されたり亡くなったりした人は全国各地で見られた。鳥取県内では7月26日現在で298人が搬送され、2人が亡くなっている。高齢者の搬送が51%、住居からの搬送が33.6%あり、とりわけ高齢者、低所得者、病人・障がい者への何らかの対策が必要である。</p> <p>また、学校などからの熱中症による搬送もあり、学校や保育所施設へのエアコン設置が全国的な課題になり、政府も来年度に向けてエアコン設置の予算化をするようである。全国の中では設置率が低い鳥取県内にあって、本町学校の設置率は高い方である。しかし、普通教室、特別教室を問わず教室にはすべてエアコンを設置すべきである。また、保育所のなかで、設置されていない遊戯室にも同様に設置すべきである。さらに、体育館は、体育の授業のみならず様々な学校行事等に使用されることが多く、また災害時の避難所にもなる場所であり、エアコン設置の必要性は決して低くない。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 今夏の本町における熱中症患者の実態を把握されているか。</p> <p>(2) 教室や遊戯室のエアコンが未設置の学校や保育所における設置計画はどうなっているか。</p> <p>(3) 体育館のエアコン設置も検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 低所得者世帯、高齢者世帯、病弱・障がい者世帯に対して、エアコン設置の補助等何らかの対策を検討すべきと考えるがどうか。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>2. 「子どもの貧困」を可視化して対策を</p> <p>我が国の子どもの貧困率の高さが問題になり、その解消を目的として2014年(平成26年)1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行された。それに従って、鳥取県では「子どもの貧困対策推進計画」を2015年3月に策定し推進している所である。実施主体は県だけでなく、市町村が行う部分もある。具体例として、生活困窮世帯の子どもへの学習支援、放課後児童クラブの充実、保育所の充実や保育料の無償化、準要保護者への就学援助、等々がある。</p> <p>これら具体例に加えて、歯の健康状況が目標項目として取り入れられている。</p> <p>全国的に虫歯のある子どもはこの20年間で83%から37%に激減しているが、一方で、虫歯が10本以上ある場合や歯の根しか残っておらず咀嚼が困難な状態である「口腔崩壊」の子どもがいるなど二極化しているという。</p> <p>歯科に親が連れて行かれない理由として、忙しくて連れていく時間がない、子どもの医療費助成が進んでも窓口負担が重くて(経済的困難で)受診をためらうなどがあるという。自治体はこのような学校での検診後の実態を把握して、施策を講じる必要がある。</p> <p>このように、歯科検診の結果を通して子どもの貧困の状況が可視化され、対策を考えることができる。</p> <p>子どもの貧困対策はまず、子どもの貧困に関する実態調査をすることである。いろいろな項目について調査をし、貧困の解消に向けて何ができるか検討をしていくことが必要である。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 町内児童・生徒の歯科検診で要受診とされた者のうち、未受診者の実態や理由、それへの対応はどうしているか。</p> <p>(2) 子どもの貧困対策を立てるために、子どもの貧困に関する実態調査(例えば、貧困率、歯科や眼科などの健康状況、朝食の取り方、学校外での学習時間、大学進学率、等々)を実施すべきと考えるがどうか。</p>	<p>町長 教育長</p>

(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成30年9月10日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

10番 大山町議会議員 近藤 大介



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. サーファーと連携した地域活性化について</p> <p>大山町には近畿や岡山県等からサーフィンに来る人が多く、町内での買い物、飲食等、一定の経済効果がある。豊かな海の資源を生かし、サーファーと連携して地域の活性化を図っていきたいと考える。</p> <p>1) 年間何人くらいサーフィンに来るか、トイレや駐車場などサーファーがどのような環境整備を求めているか、実態調査が必要と考えるが、どうか。</p> <p>2) 他地域では、サーファーをターゲットにした移住定住を進める自治体もある。大山町でも取り組んでどうか。</p>	町長
<p>2. 職員の定員管理について</p> <p>本年度は、第3次大山町定員適正化計画の最終年度にあたる。</p> <p>1) 現在の職員数と、計画の数値目標の達成状況は。</p> <p>2) 第4次計画について、どのように考えているか。</p> <p>3) 本年度は、大量の新採用を行ったが、来年度の採用は何人の予定か。</p>	町長
<p>3. 大山恵みの里公社、大山観光局について</p> <p>大山恵みの里公社ならびに大山観光局は、合併当初の総合計画において本町の活性化をけん引する組織として位置付けられていたが、現在、いずれも思うような成果を上げていないと考える。</p> <p>1) 本町の活性化を考える上で、町長は公社、観光局にどのような役割を期待しているか。</p> <p>2) 公社、観光局の現状と課題について、どう認識しているか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成30年9月10日

大山町議会議長 杉谷 洋 一 様

議席番号13番 大山町議会議員 岡田 聰 印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1 防災・減災の備えを万全に</p> <p>昨今、日本列島は自然災害に襲われ続けている。熊本地震、西日本豪雨、台風、北海道地震と立て続けに大きな被害を被っている。犠牲となられた方々のご冥福と、被災された方々にお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈り致します。このように日本列島は、何処の地域であろうと災害が発生するリスクが非常に高いと思います。被害を最小限に食い止め、大切な尊い人命や、貴重な財産を守るため、又、万が一被災した場合に被災者の一日も早い生活再建のために、何が必要なのか、十分な検討を求めて以下質問致します。</p> <p>(1) 大山町防災計画を改正されたが、これまで各地で起こった数々の災害を当然教訓にすべきと思いますが、どうか。</p> <p>(2) 自主防災組織の日頃からの活性化や災害発生時の連携が大切だがどうか</p> <p>(3) 災害復旧・復興のための基金積み立ては十分か。</p> <p>(4) 被災を想定して、被災者への支援は考えているか。</p> <p>(5) 災害廃棄物の処理や相互応援等の広域的な協定がなされていると思うがどうか。</p> <p>(6) 防災教育の充実も重要ですが、学校では勿論町民に対しても防災意識向上の講座等定期的に行うことが大切と思うがどうか。</p> <p>(7) 被害に遭わないために自分を守る意識と、近隣住民同士の助け合いが不可欠だが、自助、共助、公助の役割分担をどう考えているか。</p> <p>(8) 災害に強い大山町にするために、ソフトに加えハードも必要ですが、どうか。</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>2 高齢社会における高齢者の生き甲斐づくりを</p> <p>本町でも高齢化率37%と上昇の一途である。多くの高齢者の方が手持無沙汰を感じているのではと思う。高齢者にとって生き甲斐を持って生きることが心身を健康に維持出来、自分の居場所を見つけて社会活動に積極的に参加することに繋がり、ひいては町の元気に繋がると考えられる。</p>	<p>町長</p> <p>受附 第10号 30.9.10 大山町議会</p>

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
高齢者の方の中には、学び続けたい、社会と繋がりを持ちたい、役に立ちたい、と思っ ていらっしゃる方も多いと思います。	
(1) 就労支援や生き甲斐づくり等人材活用を含めて支援できないか。	
(2) 老人クラブ等の活動は、健康維持に繋がり医療費の削減に繋がると思 いますが、老人クラブ活性化のためにも活動費削減を見直す考えはないか。	
以上質します。	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

平成 30 年 9 月 10 日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

議席番号 7 番 大山町議会議員 米本 隆記 印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 町営墓地を造らないか</p> <p>人生最後はどうしても迎えます。実家を継承される人は先祖代々の墓があります。しかし、次男などでUターンやIターンした人は墓地探しに苦労されていると聞きます。そこで、定住対策として町営墓地はどうでしょうか。以前にも検討されていましたが、なかなか見つかりませんでした。町長は取り組む考えはありませんか。</p>	町長
<p>2. 学校の今後の在り方は</p> <p>中学校では部活動も合同チームを組むなど生徒にとって学校生活の環境が変わってきています。現在の推移で考えれば、地域においては保小中同一クラスと言う事もあり得ます。その中で一番危惧されるのがクラス内における序列が決まるということです。統合すると複数クラスになって学年ごとにいろいろな交わりができます。それで解決できるとはおもいませんが、一つの考えとしてはあり得るのではないのでしょうか。</p> <p>どのようにお考えか伺います。</p>	町長 教育長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



平成 30 年 9 月 10 日

大山町議会議員 杉 谷 洋 一 様

議席番号 5 番 大山町議会議員 大原 広巳



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1 今夏の異常気象に対する防災について ①熱中症対策に対する広報は充分だったか。被害者の発生数と対応は。 ②台風接近時の避難所対応は充分だったか。 ③北海道のような大規模停電時に、今の予備電源対応で良いか。 ④各集落の一次避難場所の確保や、地域避難所へのルート確認の徹底はできているか。集落からの活動報告で記載できないか。 ⑤自主防災組織の参加集落は増えたか。対策は。 ⑥町内の防災士は何名いますか。今後増やしていく対応は。	町長
2 堆肥センターの稼働状況について ①現在の利用状況は。不足していないか。 ②利用助成金の廃止で、影響はないか。 ③作物別の効果データの広報が必要では。	町長
3 大山口駅舎縮小案について ①JRとの交渉状況は。 ②大山公民館の分館として、図書室などを併設して、今の大きさを維持できないか。 ③各種団体の参加で、検討協議会を立ち上げないか。	町長 教育長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

